

## 令和5年度第2回菊川市男女共同参画推進懇話会の議事録

### 議事

#### (1) 令和5年度男女共同参画事業について、資料1、別紙1、別紙2、別紙3、別紙4を説明

《小学生への職業講話について》

##### ○委員

小学生への職業講話で去年は小笠東小学校で、今年はもう少し広げたいということでしたが、広がりそうですか。どうですか。

##### ○事務局

今年分は、既に2件の申込みがありました。学校が計画を立てる段階である12月頃の校長会に出席し、来年度の事業として組み込んでもらいたいという旨の依頼をしました。例年4月の校長会に出席していますが、そのときは行政からの依頼が多く、1件あたりの説明時間が十分に取れません。今回出席した12月は件数が少なかったもので、例年より説明ができたのではないかと考えています。

##### ○委員

全部の小学生向けに実施するとなると、毎年ある程度の時間をかけてやらないといけないかと思えます。申込みがあればいいと思えます。

《防災検討チームについて》

##### ○委員

新規の庁内女性防災検討チームの5回の開催で、災害時・平常時にどのようなことが必要かということをお話し合っ、すべて女性の委員で話し合ったということでしたが、すぐに成果として出るものではないとは思いますが、危機管理課とお話し合われたのでしょうか。

##### ○事務局

今回5回の打ち合わせを行い、最終的に危機管理課に、「このようなことが必要です」や「このようなことをやってほしいです」と記載した意見書のようなものをまとめて、提出させていただきました。それをもとに危機管理課の方で検討をしてくれるのではないかと考えています。

《小学生への職業講話について》

##### ○委員

小学生への職業講話を開始してから、もう7～8年目になると思うのですが、最初は6年生に聞いてもらっていたと思います。中学校は行ったことなかったですね。小学校の12歳のころにこのような講話を聞いて、「私は消防士になろう」とか「目指しているよ」という方がいればうれしいなと思うのですが、何かそのような情報など入っていませんか。

##### ○事務局

参加いただいた児童に感想文を記入してもらっています。別紙2の6に記載の感想は一人が記入した感想です。こういった形にみっちり感想を書いてくれます。その中で、ボートレーサーを目指していた女の子からの感想で、ボートレーサーを目指していると言いつらかったけど、この講話を聞いて自信を持ってボートレーサー目指していこうと考えましたという感想をもらったことがあります。

補足ですが、今まで3、4年生を対象にやってきましたが、学年について学校や教育委員会から意見や助言をいただきました。中学校では、キャリア教育の取り組みとしておりますので、前段階としてそれにつながるような事業にするのもよいのではないかと意見をいただいております。実際、6年生はとても忙しいですから、学校によってどのような判断をするかということは、先生の判断だと思っておりますので、そのあたりを踏まえて、自由度を広げてどのような学年でも対応させていただくという形でこちらは提案するように変更しました。今年度は新しい体制になったばかりの初年度でしたので1件でした。それでもとてもよい反応を児童の皆さんがしてくれていますので、引き続き地道にやっていけたらいいなと思っています。

#### 《小学生への職業講話について》

##### ○委員

先ほど説明のあった6年生へ対象を広げた経緯のことで思ったことですが、例えばこれから6年生でやっていくにあたって、やはり5、6年生の高学年向けにこれを実施することが一番いいと思います。1年間に何個できるかについては、やはり限界もあると思いますし、今までやった蓄積もあるため、これからやっていただく人たちを録画や記録しておいて教材化すればよいのではと思います。例えば、 $\alpha$ 校にAさんとBさんが講師で来たとして、 $\beta$ 校にCさんとDさんが講師で来たとします。それぞれでいろいろな話をしてもらえるとと思うので講話を記録して教材化していけば、もっと繋がりができるのではないかと思います。

また、そのあとの「将来的に効果が見えたか」という質問もありましたが、難しいかもしれませんが、わずかでもきっかけになったとかはあるかと思います。中学生になったときに聞く機会があったらいいのではないかと思います。全然違う調査で、小学校と中学校で学年を抽出してやって、将来どのような仕事に就きたいかを聞いて、なぜなりたいたかを詳しく聞いたときに、やはりそのように人の話を聞いたことはその他に書いてあったと思います。もしかしたら、ここでやった職業講話のことが残っているかもしれないので、そのあたりがもう少しわかるといいかと思います。やった成果がわかっているかもしれませんが、意識改革や男女共同参画の意識というのはすぐに身につくものではなく、時間をかけて継続してやっていくことが大切です。教育はなかなかすぐに成果が表れないものです。1回きりだとなかなか難しいと思いますので、いろいろな取り組みをしていく必要があります。

あと、後半の方に記載しましたが、教材だけでなく持ち回りでやるといいかと思えます。教育に対して菊川市が独自でやっている「学びの庭」構想がありますが、そのような中に組み込んでもらえるといいかと思えます。学びの空洞化などいろいろな問題もあるので、学んだことが将来に役立つ、生活に役立つということですね。先生たちは多忙化していますし、教科教育以外の教育も増えて大変だと思えますが、将来的に大切だと思いますので、組み込んでいただければと思います。

##### ○会長

委員からの意見・質問をいただいているので、時間がかかってもいいので対応をよろしくをお願いします。貴重な意見をありがとうございました。

## (2) 令和6年度男女共同参画事業について 資料2を説明

特に意見なし

### 3 講評

**テーマ：30代～40代の男女共同参画意識を高めるための効果的な取組み・方法とは**

○委員からの意見

- ・子どもが参加できるイベント同時開催
- ・親子イベントの開催
- ・親子での楽しみを準備
- ・親子で参加できる講座やセミナーの開催
- ・元気であるための健康や体づくりセミナー
- ・男性向けの料理教室の開催
- ・バスツアーを企画する
- ・やさしいルールを設けてワールドカフェ！心理的安全性を確保するためには時間などのルールを決めてもよいが、「人の意見を最後まで聴く」ということが大事だと思います。気兼ねなく話せる＝心理的安全性のもっとも基本のルール
- ・講座の導入を楽しく！！みんなが楽しく会話できる導入を取り入れてその後本論に入っていく。例：たい焼きはどこから食べる？
- ・その年代が参加する会議等に押し掛け（5分だけもらう）
- ・他の分野とのコラボ（防災・環境とか）
- ・モデルケース
- ・イベントを地道に開催する
- ・オンライン講座
- ・地域のコミュニティーでグループ作り
- ・園児への読み聞かせや小学生への職業講話の対象を親と子にして親世代への啓発の一つとする
- ・小・中学校に場を設ける
- ・小・中学校の参観会で橋本先生と話す会を設ける（保護者が）
- ・学校内にも保護者向け啓発掲示板を作り参観会で見てもらう
- ・幼保こども園児童クラブの玄関にポスターを貼る
- ・茶こちゃんメールで啓発活動のお知らせをできるだけ多く流す
- ・情報発信（楽しい、ためになる講座、講演会）
- ・回数を決めて市のLINEを活用する（月2回とか）
- ・ティックトックなどでアップデートしよの話題作り
- ・身近な男女不平等事例
- ・やってみよう、やってみたなどの共有
- ・男女共同参画は難しくない…例を発信
- ・同じアイコンやテキスト・デザインなどで市の共同参画の目標を発信
- ・フォトランゲージなどを取り入れた講座・SNS（例：この人の職業は？女性消防士、男性保育士）
- ・育休期間中をキャリアとして計上（まずは市役所において）
- ・市職員さんの積極的な育休取得
- ・女性のお手洗いにしかオムツ替えスペースがない企業への補助金
- ・男女1組で男女共同参画について話し合う
- ・子どもの様子を話す時間を必ず作る
- ・お互いの思いを話す
- ・相手の話をすべて聞く

- 一度諦めてみる
- 役割分担
- 役割が決まっていれば月 1 回ほど交代する
- 主に女性が行っている家事などをやってみる